

さいたま市立泰平小学校



学校だより

児童数：664名（男：326名、女：338名）

第456号 平成29年10月31日 発行

〒331-0801 さいたま市北区今羽町628

TEL 048-651-5637

FAX 048-651-4831

・ホームページ <http://taihei-e.saitama-city.ed.jp/>・Eメール taihei-e@saitama-city.ed.jp

◎かしこく

学びいっぱい

◎なかよく

笑顔いっぱい

◎たくましく

元気いっぱい

◎心ゆたかに

夢いっぱい

泰平っ子



基礎・基本

校長 玉川 徹

物事を学ぶのに、「基礎・基本」が大切だと言います。これは、間違いがありません。しかし、「基礎・基本」が大本(おおもと)にあるからなのか「簡単なこと」と軽く考えられていることはないでしょうか。

辞書によると、【基礎】①ある物事を成り立たせる、大もとの部分。もとい。「基礎がしっかりしているから、上達が早い」「基礎を固める」「基礎知識」②建造物の荷重を支持し、地盤に伝える最下部の構造物。地形(じぎょう)・土台など。【基本】判断・行動・方法などのよりどころとなる大もと。基礎。「基本の型」「基本を身につける」「基本に忠実な演技」とあります。

「基礎」は、「建物の土台」を意味する言葉でもあります。もともとは建築用語であるという説もあります。建物を築く際に、基礎は絶対に欠かすことができません。第一に、これを造らなければ始まらず、後いつまでも、これに支えられているのです。基礎工事で手を抜くと、粗末な建物しか造れず、長く建っていることもできないのです。それを考えると、物事を学ぶことに関して基礎とされる事柄は絶対に欠かすことができません。

学力における「基礎・基本」の一つで不易と言われるものに「読み・書き・計算」があります。これらは、正しい型を繰り返し、繰り返し行うことで身につけていくものです。ないがしろにされてはいけない部分です。このような、学びの基礎・基本が定着することが、「自ら考える」「自力で解決する」「自主性を育てる」「個性を大切にすること」につながってくるのです。

10歳から14歳までの年齢の子どもたちをゴールデンエイジとって、この時期に基本的な技術などを身につけることが、その後の成長を大きく左右するといわれます。この年齢に身につけた技は、生涯失われることなく、その子の素地になるのだそうです。「昔取った杵柄」ということが言われたり、『つ』のつくうち(・・・八つ、九つ)にしこめ」と昔から伝わっていたりするものがあります。子どもたちには、小学校で学んでいる今この時に、学力の基礎・基本だけでなく、運動、生活、芸術などいろいろな面における基礎・基本をしっかりと身につけて成長して欲しいと思っています。

泰平小学校の教職員は、多くの特技や趣味をもっています。それらの「基礎・基本」を聞いてみると、「なるほど」と思うもの、小さいころからコツコツ努力してきいるんだなあと思うものがありました。コツコツと繰り返す、上手なものを真似る(見る)と言ったことは共通していると思います。何事にも土台となる基礎・基本があり、その土台をしっかりと身につけたいものです。(どんなものがあるか、朝会で紹介しました。子どもたちに聞いてみてください)